



荒中教育の基本構想・グランドデザイン

「学力日本一」を目指す熊谷教育
くまがやラグビー・オリパラプロジェクト
総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム改善

学校経営方針

「この学舎は楽しきところ」
荒川中学校は、
○誰にもわかる授業をし、
確かな学力をつけます。
○徹底して「かまって」あげます。
○いざという時、全員で動きます。
○一秒でも早くプロの手へ渡します。

めざす学校像

「潤いと勢いのある学校」

- 学びの創造
- 自己指導能力の育成
- 自己有用感の向上

学校教育目標

わたしが誇るまち 熊谷に学ぶ 日本一の荒中生

めざす生徒像

本気で学ぶ生徒（知力）

I 学力の向上 (学習指導の充実)

目標値：県学調学力レベル向上100%

- 1 学習内容を明確にし、生徒にわかる授業を展開します。
- 2 ラウンドシステムの趣旨を活かした授業を全学年、全教科で実践します。
- 3 くまがやラグビーオリパラプロジェクトを活用し、汎用的能力の向上を目指します。
- 4 計画的に補充学習を行うとともに荒中検定等により、基礎的・基本的事項の定着を図ります。



めざす生徒像

本気で磨く生徒（徳力）

II 豊かな心の醸成 (心の教育の充実)

目標値：新たな不登校・いじめ出現率0%

- 1 実生活の中で、道徳教育の「見える化」を図ります。
- 2 自分の思いや考えを、思いやりのある言葉で表現できる生徒を育てます。
- 3 人間関係づくり（スキル教育）を推進し、居心地のよい学習環境を整えます。
- 4 特別支援教育コーディネーターを核とし、インクルーシブ教育を推進します。



めざす生徒像

本気で鍛える生徒（体力）

III 健やかでたくましい体づくり (体力の向上)

目標値：新体力テスト県平均以上80%以上

- 1 新体力テストを年2回（春・秋）実施し、各個人の課題種目の克服を実現します。
- 2 ヘルス・クオリティ・コントロールシートを活用し、生活習慣の確立を目指します。
- 3 う歯治療率100%を実現します。
- 4 生徒の多様な学びの場として、部活動の充実を図ります。



地域との連携（協働）

地域の中での学校づくり (開かれた学校づくり)

目標値：携帯メール登録100%

- 1 学校だよりや学年だより等より、学校の情報を積極的に発信します。
- 2 ホームページを随時更新し、生徒の活躍を時差なく発信します。
- 3 PTAと連携を図り、保護者とともに信頼される学校づくりを目指します。
- 4 地域とともに実践的防災訓練を充実させ、「自助」「共助」の力を身に付けさせます。



学校研究課題「主体的・対話的で深い学びの中で確かな学力を身に付けた生徒の育成」

熊谷の子どもたちは、これができます！
《生きる力の育成》

4つの実践

- ① 朝ごはんをしっかり食べる。
- ② 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③ 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④ 友だちをたくさんつくる。

3減運動

- ① テレビの時間を減らします。
- ② ゲームの時間を減らします。
- ③ スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

大人が手本となって